

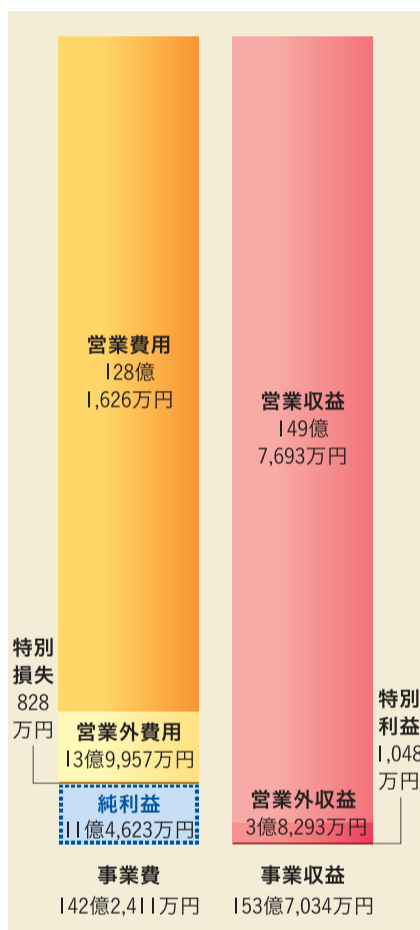
特集

水道局の経営状況を

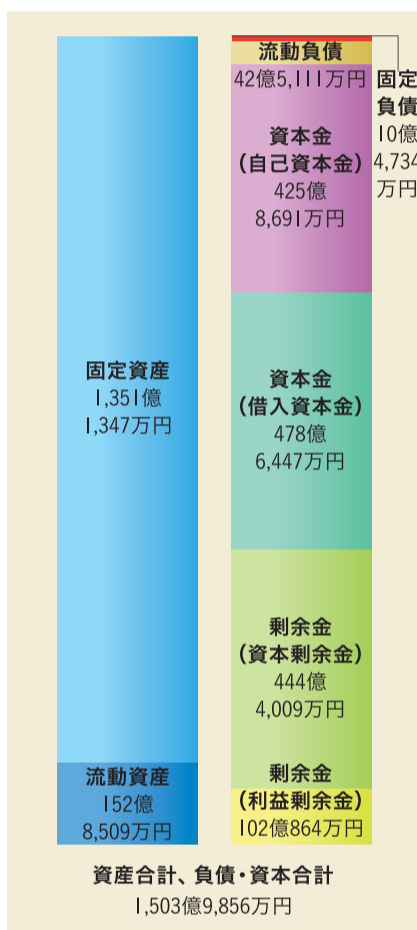
■平成23年度 水道事業会計決算の概要

平成23年度決算は、事業収益153億7,034万円に対し、事業費は142億2,411万円となり、純利益11億4,623万円を計上しました。純利益は、水道施設の整備や借入金の元金返済のために使います。配水量は、猛暑の影響で増加した平成22年度に比べ1,123,069㎡の減(▲1.04%)、また、水道料金収入の基となる有収水量も前年度比1,360,358㎡の減(▲1.34%)となり、どちらも平成21年度並みの水準となりました。

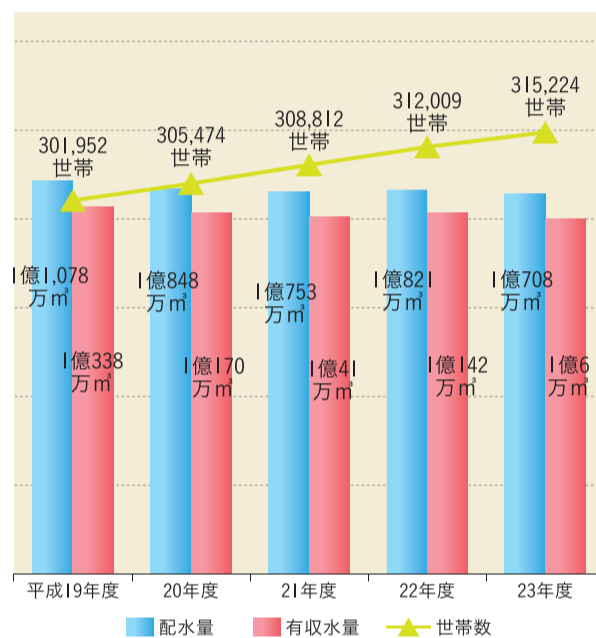
◎損益計算書



◎貸借対照表

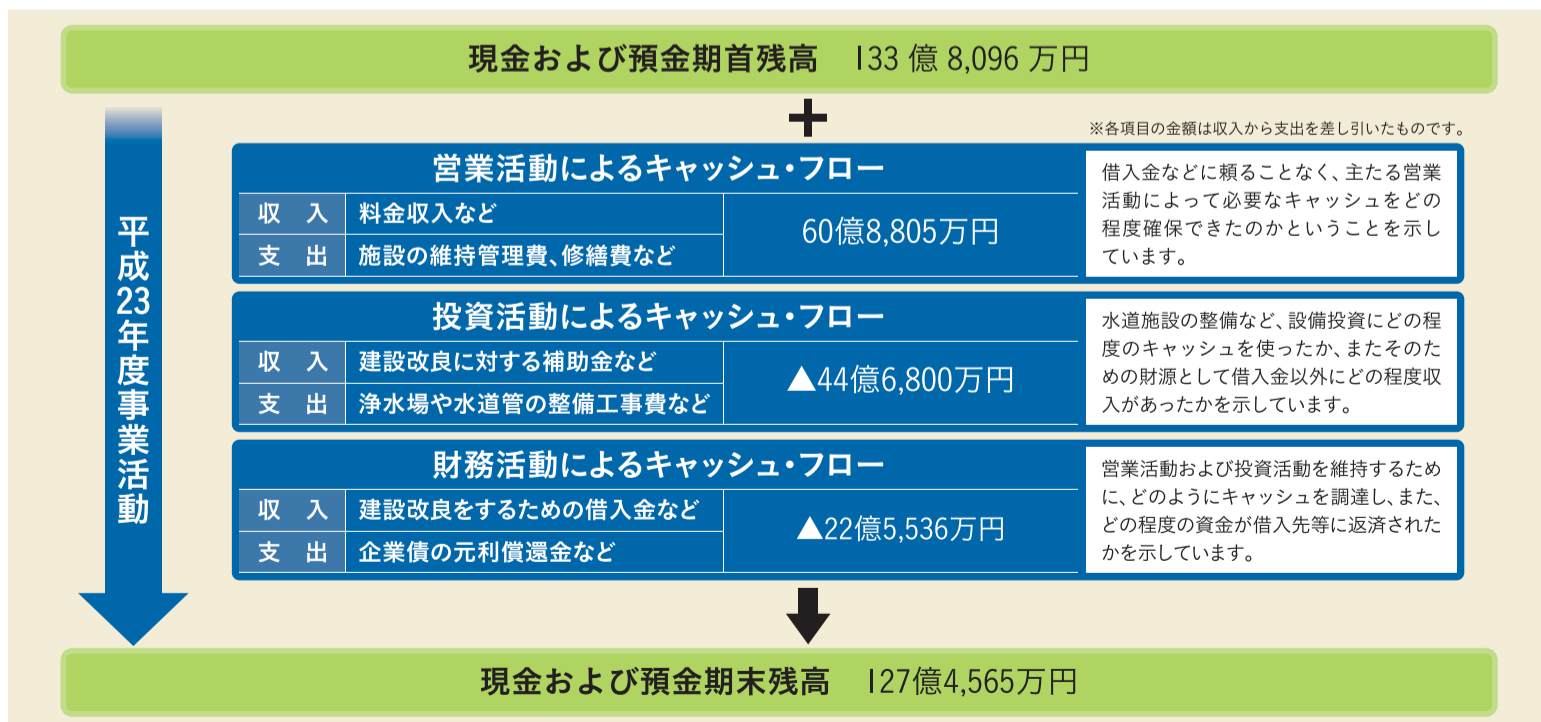


◎配水量・有収水量・世帯数の推移



配水量、有収水量は、平成22年度に記録的な猛暑の影響で増加しましたが、傾向としては右肩下がりとなっています。これは、節水意識の高まりや、洗濯機、トイレなどへの節水型機器の普及により、各世帯のご使用量が以前に比べ少なくなっていることが原因と思われます。一方で、給水世帯は増加傾向にありますが、これは世帯の細分化が影響していると考えられます。

◎キャッシュ・フロー計算書 (間接法による)



必要な設備投資を行うとともに、借入金残高を削減しながら、ほぼ年度当初並の現金等を確保できたことから、キャッシュフローの状況は良好です。

●お問い合わせは ☎ 0120-411-002 水道局財務課へ